

事業番号	10 04 04	事業改善シート（令和4年度実施事業分）				<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	信州の豊かな森林づくり推進事業	部局	林務部	課・室	森林づくり推進課				
		実施期間	S41 ~	E-mail	shinrin@pref.nagano.lg.jp				
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係									
重点目標	①労働生産性								
総合的に展開する重点政策	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進								

1 現状と課題

<ul style="list-style-type: none"> 今後、増加が見込まれる主伐地の確実な再造林と必要な苗木の安定的な生産 森林整備の施工管理の効率化・省力化の推進
--

2 事業目的

<p>計画的かつ適切な森林整備を推進することで、森林の有する多面的機能の増進を図るとともに、地域ぐるみで里山林等の整備を進め、森林を健全な姿で次の世代に引き継ぐ社会を目指す。</p> <p>また、適切な更新を図るため、再造林の推進及び植栽に必要な優良苗木の確保に努める。</p>

3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

<p>①間伐をはじめとする森林整備の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画的な間伐を行うことで、健全な森林を育成 森林づくり県民税を活用し、主要なライフラインに接する倒木対策を実施 		
<p>②主伐・再造林の推進、優良な苗木の生産</p> <ul style="list-style-type: none"> 「伐って、植えて、育てる」という林業のサイクルを確実にするため、主伐・間伐後の森林優良苗木の生産 主伐後の再造林等の支障になっている林地残材の利活用や今後の森林整備のあり方を検討するため、試験的に実践事業を実施 		
<p>③ICT化による効率的な施工管理の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 測量作業の省力化に向けたGNSS測量やGISによる補助実績の管理方法を周知 		

4 成果指標

(推移の凡例 ↗: 改善 ↘: 悪化 →: 変化なし —: 数値なし)

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度目標値	達成状況	設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	間伐面積	ha	6,417	5,621	↘	4,994	↘	8,200	未達成	健全な森林を維持するため、計画的な実施等が必要な間伐面積として、林務部業務目標における2018年度～2022年度間の累計間伐面積のうち令和4年度目標値を設定	
②	再造林面積	ha	233	227	↘	275	↗	600	未達成	主伐期を迎えた森林の確実な更新、維持増進を図るため、再造林面積を設定（しあわせ信州創造プラン2.0）、5年間の再造林面積目標のうち、最終年度となる令和4年度目標値を設定	
③	森林・林業への理解の役立ち度（アンケート）	%	97	100	↗	91	↗	90	達成	県民が協働して森林を守り育てる意識の醸成のため、戸隠森林植物園・森林学習館利用者アンケートで森林・林業への役立ち度を把握、役立ったと回答した人の割合を目標値に設定	

5 事業コスト

(単位: 千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計(予算現額)	うち一般財源		
R4年度	1,528,462	4,297,997	△ 555,480	5,270,979	1,582,311	3,812,077	20.3
R3年度	1,633,801	4,561,592	△ 796,713	5,398,680	1,630,708	3,859,798	20.3
R2年度	1,917,253	4,502,803	△ 407,680	6,012,376	1,693,779	4,150,473	20.3

事業番号	10 04 04	事業改善シート（令和4年度実施事業分）			□当初要求	□当初予算案	□補正予算案	■点検
事業名	信州の豊かな森林づくり推進事業		部局	林務部	課・室	森林づくり推進課		

6 主な取組実績と成果

<p>間伐をはじめとする森林整備の実施</p> <p>間伐 4,994haを実施し、健全な森林を維持することができた</p> <ul style="list-style-type: none"> 森林づくり県民税を活用し、主要なライフラインに接する倒木対策を19箇所実施でき、倒木等による県民生活への影響を未然に防ぐことができた <p>主伐・再造林の推進、優良な苗木の生産</p> <p>再造林を275ha実施し、森林の若返りを進めることができた</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内採取園の整備や需給調整により、2,108千本の優良苗木が生産され再造林に活かされた 主伐後の再造林等の支障になっている林地残材の利活用や今後の森林整備のあり方を検討するため、林地残材の搬出試験を3箇所実施し、搬出の工程や経費を確認することができた <p>ICT化による効率的な施工管理の推進</p> <p>GNSS測量の実施手順やGISによる補助実績の管理方法を取りまとめることができた</p> <ul style="list-style-type: none"> 上記についてマニュアルを作成し、林業事業者へ周知することができた

7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	間伐面積	R3年度推移	↘	R4年度推移	↘	達成状況	未達成
間伐面積はコロナ禍による木材価格の低迷により搬出を伴った間伐が減少し、目標の8,200haに対して4,994ha（達成率61%）で目標を下回ったが、森林の有する多面的機能の増進を図り、健全な森林を育成するため引き続き計画的な森林整備の推進に努めたい。							
指標②	再造林面積	R3年度推移	↘	R4年度推移	↗	達成状況	未達成
再造林面積はコロナ禍における全国的な木材需要の低迷により目標の600haに対して275 ha（達成率46%）で目標を下回ったが、昨年度の面積を上回り、主伐期を迎えた森林の確実な更新に対する意識は徐々に高まりつつあるため、引き続き計画的な主伐・再造林の推進に努めたい。							
指標③	森林・林業への理解の役立ち度（アンケート）	R3年度推移	↗	R4年度推移	↗	達成状況	達成
森林・林業への理解の役立ち度（アンケート）は目標90%に対して、アンケート回答者全員から森林・林業への理解が深まったと回答を受け、実績は91%（達成率101%）となり、県民が協働して森林を守り育てる意識の醸成に貢献できた。							

8 今後の事業の方向性

<p>(1) 令和4年度の取組実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題</p> <p>間伐面積や再造林の面積は、目標値を下回ったが、長野県森林づくり県民税についてのアンケートでは、森林に対する期待として、防災・減災や二酸化炭素吸収能力を最大限発揮させることの県民意識が高くなっており、引き続き計画的に森林整備を進めることが課題である。</p>
<p>(2) 翌年度以降の事業改善の方策</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き計画的な間伐や再造林に取り組む 戸隠森林植物園・森林学習館を活用した様々な団体との協働やSNS等を活用した情報発信に取り組み、森林・林業に対する意識の醸成を図る

事業番号	10 04 04	細事業一覧（令和4年度実施事業分）	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検			
事業名	信州の豊かな森林づくり推進事業		部局	林務部	課・室	森林づくり推進課

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	信州の森林づくり事業、みんなで支える里山整備事業、グレースの森創生事業、森林施業マップ整備事業、低質材利用促進実践事業（森林整備事業関係）		2,663,727 千円	2,479,699 千円	2,480,913 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	信州の森林づくり事業	補助金	森林の有する県土の保全、水源のかん養等の多面的機能の維持・増進を図る森林整備（間伐等）及び人工造林に対する補助率の嵩上げにより確実な造林を実施 【森林整備面積：4,537ha、人工造林面積：273ha】		
2	みんなで支える里山整備事業	補助金	防災・減災及び多面的な森林資源の活用を図るため、里山林等での地域ぐるみの森林整備の支援を実施 【地域ぐるみの森林整備面積：445ha】		
3	グレースの森創生事業	補助金	寄附金を活用して「記念林」となる森林整備に対する支援を行う計画だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により事業を実施することができなかった 【森林整備件数：0件】		
4	森林施業マップ整備事業	委託	森林施業の履歴を一元的に確認できる森林施業マップの基となるデータの電子化及びマニュアル作成を実施		
5	低質材利用促進実践事業	委託	主伐地の林地残材を搬出・利活用しながら効率的な森林整備を行うための試験的な実践事業を実施 【実証事業地：3箇所】		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
2	林業用優良苗木生産指導事業		15,823 千円	15,082 千円	12,169 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	林業用優良苗木生産指導事業	直接 委託 補助金	林業用優良苗木の安定生産・供給のため、優良な種子を確保するとともに、需要増が見込まれる特定母樹等採種園の整備を実施 【整備箇所数：5箇所】		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
3	林業公社事業費		1,456,753 千円	1,349,492 千円	1,306,058 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	林業公社貸付金	貸付金	「経営改革プラン」に基づく経営計画推進のため、分取割合の見直し等を進めるために必要な経費の一部の貸付を実施 【貸付金：1,296,784千円】		
2	森林整備合理化計画推進事業	補助金	「経営改革プラン」に基づく経営計画推進のため、公社が借り受ける有利子資金に対して国の規定に基づき、一定の利子助成を実施 【補助金額：9,274千円】		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
4	緑化推進事業費		597 千円	1,264 千円	763 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	地球温暖化防止吸収源対策推進事業	直接	民間企業等が「森林（もり）の里親促進事業」に基づき間伐等を実施した森林のCO2吸収量を県が評価・認証を実施 【認証件数：16件】		
2	森林災害予防普及啓発事業	直接	林業者の経営安定につながる森林保険加入促進のため、普及啓発物品の作成・配布及び林業業界誌に広告を掲載するなど広報活動を実施 【広報回数：1回】		
3	温暖化対策協働活動推進事業	負担金	県内で行われる植樹活動に負担 【開催地区数：県内4か所】		
4	緑化推進事業	負担金	公益財団法人日本さくらの会の賛助会員会費を負担 【負担金額：70千円】		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
5	県民の森管理事業、戸隠森林植物園・森林学習館管理事業（県有施設管理事業関係）		13,573 千円	14,261 千円	12,174 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	県民の森管理事業	直接	県民と森林のふれあいの場の提供及び森林の多面的機能に対する理解促進のため、県内2箇所の県民の森を管理運営 【管理費：3,925千円】		
2	戸隠森林植物園・森林学習館管理事業	委託 直接	森林・林業に関する知識の普及・啓発のため、戸隠森林植物園・森林学習館を管理運営 【委託料等：8,249千円】		